ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
2026 年 9 月 14 日
PCI-RE2026027

ロイヤルエンフィールドが
SATOMARI MOTORCYCLE とコラボレーション
「BULLET 650」ベースのカスタムバイクを
ヨコハマ ホットロッド カスタムショー2026 で発表

- **ロイヤル エンフィールドは「第 34 回 ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショー2026」に出展**
- **気鋭のカスタムバイクビルダー「SATOMARI MOTORCYCLE」が製作する、BULLET 650 ベースのカスタムバイクを世界初公開**

2026 年 9 月 14 日：ミッドサイズ(250cc～750cc)モーターサイクル・セグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、広島県尾道市を拠点に活動するカスタムファクトリー「SATOMARI MOTORCYCLE(サトマリ・モーターサイクル)」とコラボレーション。2026 年 12 月 6 日（日）にパシフィコ横浜で開催される日本最大級のカスタムカーおよびカスタムバイクのイベント「34th Annual YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW 2026（第 34 回ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショー2026)」において、ロイヤルエンフィールドの新型車「BULLET 650(ブリット・ロクゴーマル)」をベースにした新作カスタムバイクをロイヤルエンフィールド・ブースにて発表します。

SATOMARI MOTORCYCLE (サトマリ・モーターサイクル)

SATOMARI MOTORCYCLE は、佐藤勇作(さとうゆうさく)により 2021 年にスタートしたカスタムバイクファクトリー。佐藤氏は幼少期からモトクロスレースに参戦。全日本選手権にも参戦していました。レースに参戦していた頃から、佐藤氏の父が経営していたバイク及びマリン製品の販売や整備を行うショップを手伝い、2007 年頃からはカスタムバイクの製作を中心とする現在の営業形態へと移行。2021 年に独立しています。

SATOMARI MOTORCYCLE は、昨年の『S&S ヴィンテージ・ツアー2025』に参加するなど、ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショーでは常に注目を集める存在です。

■ **SATOMARI MOTORCYCLE／サトマリ・モーターサイクル**

Web サイト：https://www.sato-mc.net

Instagram：https://www.instagram.com/satomari_motorcycle/

ロイヤルエンフィールド 新型車「BULLET 650」

ロイヤルエンフィールドの新型車「BULLET 650」は、2026 年 8 月 27 日より、日本全国のロイヤルエンフィールド正規販売店で販売がスタートした新型車。90 年以上にわたり生産を続ける、世界でももっとも古いモデルファミリーの最新モデルです。熟成を重ねた排気量 648cc 並列 2 気筒エンジンとスチール製チューブラー・スパインフレームに、BULLET 伝統のディテールを融合しました。

■ **「BULLET 650」製品情報**

Web サイト：https://www.royalenfield.co.jp/lineup/bullet650/

Custom World について

ロイヤルエンフィールドの公式カスタムプログラム「Custom World (カスタム・ワールド)」は、世界で最もカスタムしやすいロイヤルエンフィールドの車両をベースに、世界各地で活躍するカスタムバイクビルダーとコラボレーションし、数多くのカスタムバイクを発表してきました。日本においても、名古屋の AN-BU custommotors (アンブ・カスタムモータース)、東京の CHERRY'S COMPANY (チェリーズ・カンパニー)、千葉の SURESHOT (シュアショット)、滋賀の「CUSTOM WORKS ZON(カスタム・ワークス・ゾン)」と、4 ブランドとのコラボレーションを実現。

2022 年よりヨコハマ ホット ロッド カスタム ショーに参加し、翌 2023 年からは日本人カスタムバイクビルダーとコラボレーションした車両をこの横浜で発表しています。ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショーへの出展は今年で 5 年目。「SATOMARI MOTORCYCLE」とのコラボレーションは、その最新作です

開催概要

■ イベント名称：第 34 回ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショー2026
https://yokohamahotrodcustomshow.com

■ 開催日時　　：2026 年 12 月 6 日（日）

■ 開催場所　　：パシフィコ横浜
神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1
https://www.pacifico.co.jp

■ チケット　　：前売り 4,950 円／当日 6,050 円(小学生以下無料)

■ チケット詳細：https://yokohamahotrodcustomshow.com/ticket-2026/

＜ロイヤルエンフィールドについて＞

1901 年の創業以来、ロイヤルエンフィールドは美しいオートバイを作り続けてきた二輪車ブランドです。そのルーツは英国にあり、1955 年にマドラス(現チェンナイ)に製造工場を設立。以来ロイヤルエンフィールドは、インドのミッドサイズ・モーターサイクルセグメントの成長を牽引してきました。ロイヤルエンフィールドのモーターサイクルは、美しく、シンプルで親しみやすく、ライディングする楽しさに溢れた乗り物である。それは我々ロイヤルエンフィールドが、自らを『Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング』と呼ぶ由縁です。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、クルーザーの「METEOR 350(メテオ・サンゴーマル)」、650 パラレルツインモーターサイクルの「BULLET 650(ブリット・ロクゴーマル)」、「CLASSIC 650(クラシック・ロクゴーマル)」「SUPER METEOR 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル）」、「INT650(アイエヌティ・ロクゴーマル）」、「CONTINENTAL GT650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル）」、アドベンチャー・モーターサイクルでは「HIMALAYAN 450(ヒマラヤ・ヨンゴーマル）」、アイコニックな「GOAN CLASSIC 350(ゴアン クラシック・サンゴーマル）」「BULLET 350(ブリット・サンゴーマル）」、「CLASSIC 350(クラシック・サンゴーマル）」があります。また我々は 2024 年に、新しいシティ＆電動モーターサイクルブランド『FLYNG FLEA(フライング・フリー)』を発表しました。それはモダンなデザインと先進技術を融合させた、都市型モビリティカテゴリーにおける我々の新たなチャレンジでもあります。

また我々ロイヤルエンフィールドは、世界各地でモーターサイクルイベントを企画しています。とくに、毎年 11 月にインド西海岸のリゾート地ゴアの美しいビーチに、世界中からロイヤルエンフィールド・ライダーが集まるイベント「Motoverse(モトバース)」や、ヒマラヤ山脈の高地を走る「Himalayan Odyssey(ヒマラヤン・オデッセイ)」が有名です。世界中の人々がロイヤルエンフィールドを走らせる世界同日開催のライディングイベント「One Ride(ワンライド)」も実施しています。

インドのトラック大手 Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に 2000 以上の店舗を構え、世界 60 カ国以上に 850 近い店舗を展開しています。また、ロイヤルエンフィールドは、英国のブランティングソープとインドのチェンナイに 2 つのテクニカルセンターを有し、インドの都市チェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルに 2 つの最新鋭の生産施設を運用しているほか、バングラデシュ、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの 6 ヶ所に近代的な CKD(コンプリート・ノック・ダウン)組立工場も有しています。

ロイヤルエンフィールドのブランドや製品に関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。
https://www.royalenfield.co.jp

全国の ROYAL ENFIELD 正規販売店は下記よりご確認いただけます。
https://www.royalenfield.co.jp/dealers/

本件に関するお問い合わせ先：ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
https://www.royalenfield.co.jp